

令和3年度 学校図書館基本計画

足立区立辰沼小学校 校長 瀬谷 智代

1 学校教育目標
ともに学び、ともに遊ぶ ○やさしい子 ○考える子 ○元気な子

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー
① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。 ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。 ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。 ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状 (昨年度末)										
蔵書状況	① 蔵書数 11,025 冊 (蔵書基準冊数 9,960 冊) / 蔵書率 110.6% ② 新規購入図書 404 冊 / 廃棄図書 454 冊 / 増減冊数 219 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1%	1%	6%	7%	10%	5%	3%	7%	3%	58%
*国基準	6%	2%	18%	9%	15%	6%	5%	9%	4%	26%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、月・火・水・木・金 (20分休み・昼休み) ② 児童一人あたりの年間貸出冊数 34.3 冊 (前年度：29.5 冊) ③ 1か月に2冊以上読む児童 90.9% (前年度77%)									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み	
第1学年	◎ 読みやすい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ○ 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。
今年度の成果目標	
① 学校図書館を使う授業を確実にし、児童が本を手取る機会を増やす。 ② 読みやすい読み物に興味をもち、楽しんで読書することができる。 ③ 学校図書館での本の借り方や返し方を身に付ける。	達成基準 ① 各クラス月3回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書月間を利用して、学年相応の本を年間一人あたり30冊以上読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
第2学年	◎ いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ○ 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	
① 学校図書館を使う授業を確実にし、児童が自分の興味のある本を探して、読書する機会を増やす。 ② いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書することができる。 ③ 学校図書館の本の場所や印について学ぶ。	達成基準 ① 各クラス月3回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書月間を利用して、学年相応の本を年間一人あたり30冊以上読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
第3学年	◎ いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ○ きまりを守り、すすんで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	
① 学校図書館を使う授業を確実にし、児童が自分の興味のある本や、それに関連する本を探して、読書する機会を増やす。 ② いろいろな読み物に興味をもち、すすんで読書することができる。 ③ 学校図書館の本の分類を知り、自分の調べたい本を探すことができる。	達成基準 ① 各クラス月3回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書月間を利用して、学年相応の本を年間一人あたり30冊以上読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%

第4学年	○ いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ◎ きまりを守り、すすんで学校図書館を利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	
① 学校図書館を使う授業を確実にを行い、児童が自分の興味のある本だけでなく、様々なジャンルの本を手に取り、読書する機会を増やす。 ② いろいろな読み物に興味をもち、すすんで読書することができる。 ③ 学校図書館の本の分類を知り、自分の調べたい本を探すことができる。	達成基準
	① 各クラス月3回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書月間を利用して、学年相応の本を年間一人あたり30冊以上読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
第5学年	○ 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ◎ きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	
① 学校図書館を使った探求活動の授業を行い、児童が興味のある事柄について、本や使って調べる機会を増やす。 ② 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ③ 学校図書館の本や百科事典等を活用して調べ学習を行い、分かったことをまとめることができる。	達成基準
	① 各クラス月1回以上、探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書月間を利用して、学年相応の本を年間一人あたり20冊以上読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%以上
第6学年	○ 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ◎ きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	
① 学校図書館を使った探求活動の授業を行い、児童が興味のある事柄について、適切な本や新聞等を使って調べる機会を増やす。 ② 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ③ 学校図書館の様々な本や新聞等を活用して調べ学習を行い、分かったことを資料や統計グラフを使ってまとめることができる。	達成基準
	① 各クラス月1回以上、探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書月間を利用して、学年相応の本を年間一人あたり20冊以上読む ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が90%以上

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ① 既存の寄贈本や新規購入図書を受け入れ、登録作業を8月中に完了させる。
- ② 児童が利用しやすいように、配置を変える。
- ③ 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ① 本の紹介や読み聞かせ等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。
- ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。
- ③ 学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを目指す。

【その他】

- ① 図書委員による読み聞かせや本の紹介を行う。
- ② 長期休業中は、貸し出し冊数を一人3冊までを可とする。